

キリトリせん

町制施行25周年記念
亀倉蒲舟
卒寿の軌跡

無料入館券

本券1枚で町民1名に限り雪梁舎美術館に無料入館できます。

有効期限

平成10年4月3日(金)から
平成10年5月17日(日)まで

町制施行25周年記念
亀倉蒲舟
卒寿の軌跡

無料入館券

本券1枚で町民1名に限り雪梁舎美術館に無料入館できます。

有効期限

平成10年4月3日(金)から
平成10年5月17日(日)まで

町制施行25周年記念
亀倉蒲舟
卒寿の軌跡

無料入館券

本券1枚で町民1名に限り雪梁舎美術館に無料入館できます。

有効期限

平成10年4月3日(金)から
平成10年5月17日(日)まで

町制施行25周年記念
亀倉蒲舟
卒寿の軌跡

無料入館券

本券1枚で町民1名に限り雪梁舎美術館に無料入館できます。

有効期限

平成10年4月3日(金)から
平成10年5月17日(日)まで

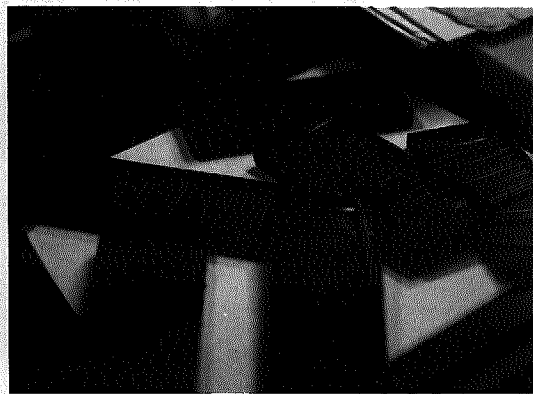
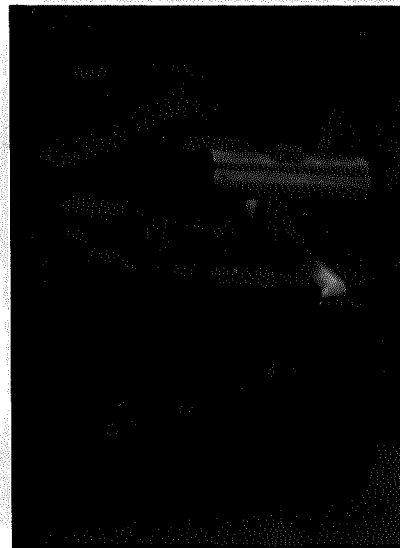
町制施行25周年記念
亀倉蒲舟
卒寿の軌跡

無料入館券

本券1枚で町民1名に限り雪梁舎美術館に無料入館できます。

有効期限

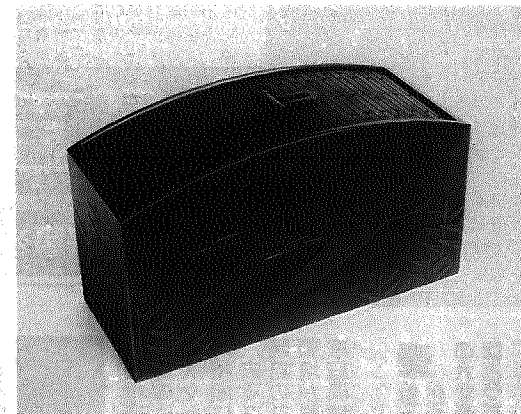
平成10年4月3日(金)から
平成10年5月17日(日)まで



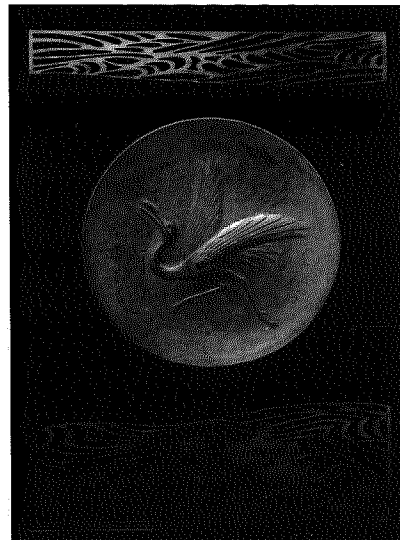
先生の手となり数々の作品を生みだしてきた鑿(写真右)と鋸(写真左)。

黄銅鷲文飾箱

(昭和12年、第1回新文展)
文部省美術展で入選したこの作品は、まだ蒲舟の号ではなく本名の宇吉での作。



黄銅詩抄
(昭和55年、第12回日展)



- 主な表彰歴
- 昭和52年 黒崎町自治功労者表彰
 - 昭和53年 紺綬褒章
 - 昭和54年 新潟県教育委員会表彰
 - 平成2年 新潟県知事表彰
 - 平成6年 文部大臣表彰

- 主な作品
- 昭和11年 黒味銅彫金管(第1回改組帝展入選)
 - 昭和12年 黄銅鷲文飾箱(第1回新文展入選)
 - 昭和21年 伽藍彫金壁掛(第1回日展入選)
 - 昭和32年 流水(第13回日展入選)
 - 昭和33年 長春花飾箱(第1回日展委嘱出品)
 - 昭和40年 飾皿・列(第8回日展会員)
 - 昭和44年 石仏和讃(第1回改組日展)
 - 昭和50年 門(第7回改組日展)
 - 昭和53年 天壇(第10回改組日展)
 - 昭和55年 黄鶴詩抄(第12回改組日展)
 - 平成2年 夢殿礼讃(第22回改組日展)

外多数

卓越した
聖さばきと
意匠力

筆者が創造性豊かな蒲舟作品に直接に接したのは、一九七七年、新潟大学に赴任した年に新潟大和で催された「亀倉蒲舟・彫金作品展」からである。喜寿を迎えたというのに「私はこの個展を契機に、これから新たな気持ちで制作に取り組み」と語った創造姿勢と精神力にただ敬服するばかりであった。事実、翌年には日本新工芸家連盟の創立会員となり中央に向けて活躍し、郷土では新潟県工芸会を設立し、県内工芸発展に絶大な貢献をしている。

表現力と一体とならなければならぬ。その点、蒲舟には長年鍛えられ、卓越した聖さばきと意匠力が兼ね備わっている。蒲舟作品の特徴は、厳格さと温和さが調和した意匠と、卓越した彫金技術、独自性に富んだアマलगム鍍金による金・銀彩仕上げの融合にある。現在までの足跡をたどれば次の三期に大別できる。

初期の作品群には鶴、昆虫、魚、草花といった自然をモチーフとした表現が多いが、それこそ、幼少のころと三十歳後半から移り住んだ郷土の潟や池、稲穂に囲まれた環境に育まれた結果だろう。



額装の大作がウエイトを占めるようになった喜寿までの全盛期。このころ、温和な人間性が存分に表出されるようになった。温かみのあるデザインと、厳格な響きの中に心地よいリズム感を与える毛彫りに、アマलगム鍍金による金・銀彩の重ね色の効果が見事に融合した作品群を見ると、ひと味違った造形世界を築いていることがよく分かる。

町制施行25周年記念

亀倉蒲舟 卒寿の軌跡

会 期 4月3日(金)から5月17日(日)まで
会 場 雪梁舎美術館(新潟日報黒崎本社向、☎377-1888)

※ 町民の方は、左記の入館券持参で入館できます。
なお、雪梁舎美術館は、午前9時30分から午後5時まで開館しており、月曜日は休館です。